

☆RIM JAPAN PRODUCTS INTELLIGENCE DAILY

★No.9176 Aug 28 2024

Copyright(C) 2024 RIM Intelligence Co. All rights reserved.

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

「4リム価格」は登録商標です 登録番号・第5660925号

「リムラック価格」は登録商標です 登録番号・第5660926号

お申し込み >

試読 >

### ◎お知らせ

#### ○季刊誌『エネルギー通信』第21号発売のお知らせ

リム情報開発は8月20日、エネルギーの「いま」をまとめて把握できる季刊誌『エネルギー通信』第21号を発行しました。今号では、政府が行っている石油・ガス・電気に対する価格激変緩和措置をまとめました。また、脱炭素化に向けた世界の動きとして、アンモニアや水素などの新燃料の動向、化石燃料のカーボンニュートラル化、脱炭素化に取り組む自動車業界の最新事情を取り上げました。『エネルギー通信』第21号でぜひご覧下さい。

『エネルギー通信』は、WEBで閲覧いただくことができます。お申込み・お問い合わせはこちら

URL: <https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/eneletter/>

エネルギー通信チーム TEL: 03-3552-2411 / Email: [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

#### ◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

28日のレックス22は、前日から1.75ポイント上昇し168.17です。

#### -----リムレポートのご紹介-----

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/report/>

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力
バイオマス(週刊)	デイリーデータ	Rim Data File
クリーンエネルギー(週刊)	CROSS VIEW軽油/重油	エネルギー通信

上記に関するお問い合わせは、TEL 03-3552-2411 E-mail [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)



東京時間2024年8月28日水曜日17時&lt;Assessment Closing Time&gt;

◎国内石油製品海上バーjisポット価格 (製油所・油槽所バーjis取り・円/kl)					
東京湾(京浜/千葉)	固定値	中値	前日比	市況連動	
ガソリン	- 80,000~ 81,000 -	80,500	-500	-500/ +500	
灯油	- 78,500~ 79,000 -	78,750	-750	-500/ +500	
軽油0.001%S	- 79,000~ 80,000 -	79,500	-500	-500/ +500	
A重油0.5%S	- 77,500~ 77,900 -	77,700	-550	-500/ +500	
A重油0.1%S	- 78,000~ 78,400 -	78,200	-550	-500/ +500	
C重油0.3%S	102,500~ 103,500	103,000	+0	-500/ +500	
C重油3.0%S	89,500~ 90,500	90,000	+0	-500/ +500	
船舶用0.5%S重油	103,500~ 104,500	104,000	+0		
船舶用3.0%S重油	89,500~ 90,500	90,000	+0		
西日本(阪神/大西)	固定値	中値	前日比	市況連動	
ガソリン	- 80,000~ 81,000 -	80,500	-500	-500/ +500	
灯油	- 78,500~ 79,000 -	78,750	-750	-500/ +500	
軽油0.001%S	- 78,000~ 79,000 -	78,500	-500	-500/ +500	
A重油0.5%S	- 77,500~ 77,900 -	77,700	-550	-500/ +500	
A重油0.1%S	- 78,000~ 78,400 -	78,200	-550	-500/ +500	
C重油0.3%S	102,500~ 103,500	103,000	+0	-500/ +500	
C重油3.0%S	89,500~ 90,500	90,000	+0	-500/ +500	
船舶用0.5%S重油	103,500~ 104,500	104,000	+0		
船舶用3.0%S重油	89,500~ 90,500	90,000	+0		

市況連動はリム月間平均値に対するプレミアム/ディスカウント 前日比は固定値中値ベース  
アセスメント対象となる受渡月が翌月に移行する当月26日(休日の場合には、直後の営業日)の「前日比」については「-」とする。

◎国内石油製品ペーパースワップ価格 (国内製油所バーjis取り・円/kl)				
	9月	10月	11月	
ガソリン	- 80,000~ 81,000 -	82,000~ 83,000	82,000~ 83,000	
灯油	- 78,500~ 79,000 -	81,000~ 82,000	81,000~ 82,000	
軽油0.001%S	- 79,000~ 80,000 -	81,900~ 82,900	81,500~ 82,500	
A重油0.5%S	- 77,500~ 77,900 -	- 76,300~ 76,700 -	- 75,500~ 75,900 -	
A重油0.1%S	- 78,000~ 78,400 -	- 76,800~ 77,200 -	- 76,000~ 76,400 -	
C重油0.3%S	102,500~ 103,500	+ 101,300~ 102,300 +	+ 100,500~ 101,500 +	
C重油3.0%S	89,500~ 90,500	+ 88,300~ 89,300 +	+ 87,500~ 88,500 +	

◎東京商品取引所石油先物・日中取引 (東京湾製油所・油槽所バーjis取り・円/kl)						
	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
<b>ガソリン</b>						
10月限	-	-	-	81,000	-	-
11月限	-	-	-	81,000	-	-
12月限	-	-	-	81,000	-	-
1月限	-	-	-	81,000	-	-
2月限	-	-	-	81,000	-	-
3月限	-	-	-	81,000	-	-
合計						-
<b>灯油</b>						
10月限	-	-	-	80,000	-	-
11月限	-	-	-	80,000	-	-
12月限	-	-	-	80,000	-	-
1月限	-	-	-	80,000	-	-
2月限	-	-	-	80,000	-	-
3月限	-	-	-	80,000	-	-
合計						-



軽油							
10月限		-	-	-	80,900	-	-
11月限		-	-	-	80,500	-	-
12月限		-	-	-	80,100	-	-
1月限		-	-	-	79,700	-	-
2月限		-	-	-	79,200	-	-
3月限		-	-	-	78,800	-	-
合計							
原油							
8月限	71,510	71,510	71,450	71,450	-430	12	
9月限	70,840	70,840	70,560	70,560	-1,670	9	
10月限	69,550	69,550	69,320	69,370	-1,600	73	
11月限	68,680	68,680	68,450	68,550	-1,630	138	
12月限	67,890	68,050	67,730	67,790	-1,640	256	
1月限	67,250	67,520	67,150	67,220	-1,610	1,486	
合計							1,974
取組高(08/27)(売): ガソリン 0 灯油 0 軽油 0 原油 33,305							
取組高(08/27)(買): ガソリン 0 灯油 0 軽油 0 原油 33,305							
1枚=50kl							

◎東京湾製油所出し陸上スポット価格 (千葉・川崎平均値 円/kl)					
ガソリン	81,100	-600	灯油	78,900	-225
未課税軽油0.001%S	77,500	-850	A重油0.5%S	76,550	-400
A重油0.1%S	77,050	-400			

◎原油輸入平均CIF価格 (JCC 円/kl・財務省発表)					
24/05/01-31r	86,951	24/06/01-30r	86,543	24/07/01-31	88,326
24/05/01-10	86,375	24/06/01-10	86,912	24/07/01-10	87,919
24/05/11-20	87,467	24/06/11-20	86,659	24/07/11-20	89,028
24/05/21-31	86,922	24/06/21-30	85,914	24/07/21-31	87,872
r=修正値					

◎原油輸入平均CIF価格予想値 (JCC 円/kl、RIM試算値)					
24/8月		24/9月		24/10月	
82,840	+20	75,710	-260	75,690	-1,000

◎MR船型の日本着輸入価格 (ナフサ・重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)			
	スポット価格	プレミアム	円/kl
ナフサ	- 682.00~ 682.50 -	3.50/ 4.50	69,377
ジェット/灯油	- 89.75~ 89.85 -	0.40/ 0.50	85,201
軽油 0.001%S	- 89.45~ 89.55 -	-0.05/ 0.05	85,330
重油 0.3%S	- 585.25~ 595.25 -	0.00/ 10.00	86,651*
重油 380cst 3.5%S	- 434.75~ 435.75 -	-3.00/ -2.00	64,697
円ドル換算レート (TTS 円/ドル 8月28日現在) 145.27 *密度0.95			

◎MR船型の日本積み輸出価格 (重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)			
	スポット価格	プレミアム	円/kl
ガソリン 92RON	- 85.25~ 85.45 -	2.15/ 2.35	80,252
ジェット/灯油	- 88.40~ 88.50 -	-0.95/ -0.85	83,065
米西海岸向け軽油	- 88.30~ 88.40 -	-1.20/ -1.10	82,974
軽油 0.001%S	- 88.05~ 88.15 -	-1.45/ -1.35	82,747
重油 380cst 3.5%S	- 415.75~ 416.75 -	-22.00/ -21.00	61,351
円ドル換算レート (TTM 円/ドル 8月28日現在) 144.27 *還付金の2,800円を含む			



◎MR船型のシンガポール積み輸出価格 (重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)			
	スポット価格		プレミアム
ナフサ	-	71.50~ 71.60 -	1.70/ 1.80
ジェット/灯油	-	89.20~ 89.30 -	-0.15/-0.05
軽油 0.001%S	-	89.05~ 89.15 -	-0.45/-0.35
軽油 0.05%S	-	87.40~ 87.50 -	-2.10/-2.00
重油 0.5%S	-	595.25~ 605.25 -	10.00/20.00
重油 180cst 3.5%S	-	446.25~ 447.25 -	3.50/ 4.50

◎MR船型のインドネシア積みLSWR価格		
	スポット価格	プレミアム
0.45%LSWR(\$/mt)	- 482.75~ 492.75 -	-102.50/ -92.50*
0.45%LSWR(\$/bbl)	- 73.15~ 73.45 -	

\*シンガポールペーパー swaps 0.5%S重油に対するプレミアム

◎シンガポール・ペーパー swaps (重油 ドル/トン・その他 ドル/バレル)			
	9月	10月	11月
ナフサ	- 69.75~ 69.85 -	- 69.50~ 69.60 -	- 69.20~ 69.30 -
ジェット/灯油	- 89.30~ 89.40 -	- 89.35~ 89.45 -	- 89.55~ 89.65 -
ジェット/軽油格差	+ -0.20/ -0.10 +	+ -0.55/ -0.45 +	- -0.95/ -0.85 -
0.001%S軽油	- 89.45~ 89.55 -	- 89.85~ 89.95 -	- 90.45~ 90.55 -
重油 0.5%S	- 585.00~ 585.50 -	- 567.75~ 568.25 -	- 557.00~ 557.50 -
180cst 3.5%S重油	- 442.50~ 443.00 -	- 433.75~ 434.25 -	- 427.25~ 427.75 -
380cst 3.5%S重油	- 437.50~ 438.00 -	- 426.25~ 426.75 -	- 418.50~ 419.00 -

◎シンガポール精製マージン (対ドバイ原油・ドル/バレル)			
	9月	10月	11月
ナフサ	-7.30	-6.46	-6.14
ジェット/灯油	12.25	13.39	14.21
0.001%S軽油	12.40	13.89	15.11
重油 0.5%S	12.94	11.37	10.34
180cst 3.5%S重油	-8.98	-9.24	-9.62
380cst 3.5%S重油	-9.75	-10.39	-10.97

◎アジア・バンカー価格 (ドル/mt・届けベース)						
	380cst		VLSFO		LSMGO (日本のみLSMDO)	
東京湾	520.00-523.00	-12.00	635.00-638.00	-10.00	798.00- 808.00	-29.00
西日本	535.00-538.00	-12.00	660.00-663.00	-10.00	808.00- 818.00	-29.00
伊勢湾	530.00-533.00	-12.00	655.00-658.00	-10.00	798.00- 808.00	-29.00
韓国	486.00-489.00	-11.00	619.00-622.00	-20.00	661.00- 671.00	-24.00
シンガポール	462.00-465.00	-11.00	631.00-634.00	-9.00	658.00- 668.00	-22.00

◎韓国出シSR船型輸入採算価格(A重油を除き関税・石油石炭税込み 円/kl)								
荷揚げ地	ガソリン		灯油		軽油		LSA重油	
北海道	86,565	-3,318	90,500	-3,474	90,402	-3,793	82,420	-3,775
京浜	85,926	-3,315	89,861	-3,471	89,762	-3,791	81,780	-3,773
中京	85,652	-3,314	89,587	-3,470	89,488	-3,790	81,506	-3,772
関門	85,286	-3,313	89,221	-3,469	89,123	-3,788	81,141	-3,770

※SR船型による輸入、LSA重油は免税ベース、軽油は硫黄分10ppm  
※輸入採算価格はリムアジア製品レポート掲載のシンガポール市況(ペーパー)の9月限をベース

**◎マーケットコメント**
**○元売り市中調達**
**トッパー停止数5基・計57万3,100b/d 停止率=18.4%**

28日の市中調達は浮上しなかった。台風10号の接近で配船が乱れており、元売りの買い意欲も低下しているようだ。

**○ガソリン京浜・前日比500円安の80,000～81,000円 西日本・前日比500円安の80,000～81,500円**

**【概況】** 東西ともに下振れ。9月相場に向け、輸入玉の拡販観測が広がった。8月末で油税引き下げ措置を取り止めると発表した韓国政府は、10月まで現状維持と方向転換したため、9月以降も輸入玉が一定量流れるとの相場観が伝えられた。複数の市場関係者によると、陸上市場を含め、元売りや商社の市中調達意欲は早くも後退気味という。

**【成約一覧】** JOX、OTC市場ともに成約なし

**【JOX市場】** 午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値						
数量						
市況連動						
数量						

**【東西】** JOX、OTC市場ともに新規成約は浮上せず。西日本中心に台風10号の接近で広い範囲で第一警戒および第二警戒体制が敷かれており、各港の船舶は様子見せざるを得ない状況。

一方、台風一過後の9月相場に対し、輸入玉の流入を見越す動きもあるようだ。複数の市場関係者によると、韓国は8月で取り止め予定だった油税の引き下げ措置を延長方針に切り替えたため、少なくとも9月は一定量の輸入玉が国内に入着するとの見方が浮上した。同国では8月の油税引き下げ終了アナウンスに対し、業界内で仮需や溜め込みが発生。また、7月下旬に元売りの一角で製油所装置火災もあり、ガソリン精製バラ

ンスが乱れ、8月は輸出に充てる在庫調整が遅れたようだ。国内入着分の遅れを受け、海陸市場では大口の市中買いが元売りや商社間で進められ、とくに京浜陸上市場では思惑売買による高値取引も表面化していた。9月はこうした動きがいったん落ち着くとの見方が強い。商社間では先高期待の後退から東西相場を足元からやや下振れし、80,000～81,000円と伝えるが寄せられた。

市況連動は東西で月間平均レス500円～プラス500円が変わりはない。

**【東商取】** バージ10月限は前日並み81,000円で日中取引を終えた。出来高はゼロ。原油9月限とのクラックスプレッドは10,440円。

在庫内訳	単位:kl	前週比	粗ガソリン	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	794,964	+54,739	1,195,777	+129,808	20	-20
西日本	610,288	+4,200	659,655	+72,810	43	-49,263

○灯油 京浜・前日比750円安の78,500~79,000円 西日本・前日比750円安の78,500~79,000円

【概況】海上スポット市況は前日から切り下がった。元売りの29日以降の仕切り価格が実質引き下げだったため、これを唱えに反映する動きが出た。ただ、台風接近により配船が乱れており実売買は停滞していた。

市況連動商談は東西ともに月間平均レス500円~プラス500円で横ばい。

【成約一覧】表面化せず。

【JOX市場】午後2時30分時点の最高値、最安値の唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値						
数量						
市況連動						
数量						

【東西】OTC市場では東西において79,000円までの買い気が寄せられた。製油所玉が買い気の対象となっている。元売りの29日以降の実質仕切り価格が600円の下げとなったため、唱えを下方修正する動きが広がった。同じくOTC市場では売り気として東西78,500円までが伝えられた。足元の陸上スポット市場では8月商談が続いており、78,000円台後半の売値が提示されている。9月の陸上相場も同程度でスタートするとの見通しから、この水準であれば海上でも販売が可能との指

摘が出た。売り手は需要家向けとして油槽所玉などの販売を想定している。売買唱えの水準はルートの間違から高安逆転して推移している。

【在庫】石油連盟が発表した8月18~24日の在庫統計によると、灯油の在庫は189万8,080klとなった。前年同期を29万905kl(13.3%)下回る。元売り各社は9月以降に冬季向けの溜め込みを本格化させる方針だ。ジェット燃料は70万7,966klで前年同期を18万594kl(20.3%)下回る。

在庫内訳	単位:kl		前週比	ジェット	前週比	合計
東日本	1,445,078	+63,054	383,968	-70,378	1,829,046	-7,324
西日本	453,002	+28,719	323,998	-48,536	777,000	-19,817
輸出内訳						
東日本	4,994	+77	150,311	+33,969	155,305	+34,046
西日本	10,069	-9,194	22,355	-24,291	32,424	-33,485

○軽油 京浜・前日比500円安の79,000～80,000円 西日本・前日比500円安の78,000～79,000円

【概況】東西ともに下落。元売り各社の仕切り価格は29日から実質的に600円引き下げられた。スポット市場における売買アイデアもこれに基づき切り下がったものの、速度の遅い台風10号のために実際の商いは難しくなっている。

市況連動商談は東西ともに月間平均レス500円～プラス500円でスタート。

【成約一覧】成約は浮上しなかった。

【JOX市場】午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値						
数量						
市況連動						
数量						

【東西】JOX市場は引き続き採用時間内の売買唱えは提示なし。9月渡し入り後も閑散としている。

OTC市場の買いアイデアは、東西79,000円と前日から500円切り下がった。これは元売り向けの商いが想定されている。西日本では一部の商社向けに78,000円のオファーを示すディーラーがいる。京浜でも売り意欲を示す業者がいるようだが、売唱えは今のところ表面化していない。

売買アイデアは示されるものの、目先は成約に至りにくい。台風10号の接近で、西日本の配船は混乱。混乱が収まらない限り、物理的に様子見を余儀なくされているようだ。なお大分製油所

は29日以降海上出荷が停止する予定という。

【在庫】石油連盟によると、24日時点の全国在庫は前年比4.5%増の147万7,864klだった。東日本は同7.3%減の72万2,470klに対し、西日本は同18.8%増の75万5,394kl。

18～24日にかけての輸出量は同31.6%減の11万5,912kl。23日時点のMR船型輸入採算価格は84,821円だ。輸出量は前年に比べれば減少しているものの、前週比では1.5倍に増加。民族系最大手元売りは9月以降の軽油輸出を再開する見通しだ。

在庫内訳	単位:kl	前週比	粗軽油在庫	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	722,470	+3,027	647,772	+57,950	91,811	+64,417
西日本	755,394	+19,131	268,768	+6,575	24,101	-23,772

**○A重油0.5%S京浜・前日比550円安の77,500～77,900円 西日本・前日比550円安の77,500～77,900円**

**【概況】**東西ともに下落。ENEOSなど主要元売りによる仕切り価格の実質引き下げを受けた。市況連動商談は京浜、西日本ともに月間平均レス500～プラス500円。

**【JOX市場】**午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値						
数量						
市況連動						
数量						

**【東西】**東西ともにOTC市場では77,900円のオファーが伝わる。週次コストに連動する玉をベースに販価を組み立てたディーラーが仕切り改定幅なりに唱えを下げた。また同市場で伝わるビッドは77,500円まで低下。足元は9月渡し商談が始まって日が浅く、買い気は総じて低調という。目先は9月渡し分より、8月末納入分の対応に苦慮するディーラーも大勢。台風10号の影響で配船が乱れているためだ。同台風は当初想定より進行が遅い「ノロノロ台風」。8月下旬の台風接近を想定しバンカー船などへの納入日を当初予定より延期していたディーラーは、進行が遅れた結果「延期後のタイミングをめがけて台風が近づいている」とため息。台風対策が完全に裏目

に出ているという。足元は台風が近づく前に駆け込みで補油を済ませる船もある。ただ、補油を9月まで先送りする船もあり、全体的な需要の停滞感を苦慮する声も寄せられている。台風の手遅れが遅ければ、通過後も海の波落ち着くまで時間がかかり、船舶向けの重油需要発生をその分後ずれさせる可能性もある。

**【在庫】**石連週報によると、直近24日時点の全国A重油在庫は前週比9.2%減の39万7,649kl。内訳は東日本が同8.5%減の24万8,812kl、西日本が同10.3%減の14万8,837klだった。また石連週報から推計した18～24日の全国A重油出荷は前年同週比9.8%増の8万8,692klとなっている。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸出	前週比
東日本	248,812	-1,778	0	0
西日本	148,837	-173	0	0

**○A重油0.1%S京浜・前日比550円安の78,000～78,400円 西日本・前日比550円安の78,000～78,400円**

**【概況】**東西ともに弱含み。仕切り価格の実質引き下げが響いている。市況連動商談は京浜、西日本ともに月間平均レス500～プラス500円。

**【JOX市場】**午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値						

数量						
市況連動						
数量						

【東西】東西ともにOTC市場では78,400円のオフアが聞かれた。同市場では78,000円のビッドも浮上。スポット市況は0.5%S品対比で500円の上ザヤを形成している。JOX市場における売買唱えの提示はなかった。また足元のやりとりは限定的。西日本の場合、直近で海上玉を陸揚げ予定だったディーラーのなかには「台風の影響で出航を急遽取り止めた」（地場ディーラー）ケースもある。現時点の海上出荷が可能でも、海上保安庁の退避勧告が発令されれば、二次基地側の転送船の受け入れが難しくなるからだ。台風が接近している九州では製油所、油槽所ともに28日

夕刻以降、海上の出荷規制も順次入る見通しだ。

【官公需】海上保安庁が28日開札した東京湾に停泊予定の隻測量船向け10月納めLSA重油320klの競争入札は、前期比200円安の届け79,700円でカメイが落札した。二番札は同79,900円のようにだ。

【在庫】石連週報によると、直近27日時点の全国LSA重油在庫は前週比5.7%減の29万9,079kl。内訳は東日本が同9.2%減の18万3,798kl、西日本が同0.5%増の11万5,281klだった。また石連週報から推計した18～24日の全国LSA重油出荷は前年同週比10.4%減の7万326klとなっている。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸出	前週比
東日本	183,798	-11,840	0	0
西日本	115,281	-7,976	0	0

#### OC重油0.3%S 京浜・西日本ともに前日と同じ102,500～103,500円

【概況】東西ともにもち合い。JOX、OTC市場ともに目立った動きがみられなかった。

【税込み輸入採算価格】日本着MR船型の硫黄分0.3%重油は前日比1,868円安の86,651円。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸入内訳	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	484,631	+759	0	0	14,278	+7,315
西日本	251,890	-14,920	0	0	12,916	-6,081

#### OC重油3.0%S 京浜・西日本ともに前日と同じ89,500～90,500円

【概況】東西ともに横ばい。JOX、OTC市場ともに目立った動きがみられなかった。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸入内訳	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	514,083	-56,965	0	0	107,857	+52,588
西日本	463,087	+3,558	0	0	16,130	+3,026

**〇0.5%S重油 京浜・西日本ともに前日と同じ103,500～104,500円**

【概況】東西ともに動きなし。台風10号の進度の遅さが、西日本から京浜の受け渡しに悪影響を及ぼしている。いずれも受け渡しを延期した日程に台風が直撃する予定になるなど、対策が裏目に出た形だ。

**〇3.0%S重油 京浜・西日本ともに前日と同じ89,500～90,500円**

【概況】東西ともに横ばい。JOX、OTC市場ともに目立った動きがなかった。

【ボンドバンカー市況の内貨ネットバック価格】京浜の180cstベースで前日比1,964円安の74,237円。

【硫黄分3.5%品のカーゴ輸出価格】前日比2,181円安の61,351円。

補助金月間平均確定値					
22年1月	500円	23年1月	15,500円	24年1月	15,600円
22年2月	4,500円	23年2月	17,400円	24年2月	20,200円
22年3月	16,100円	23年3月	15,000円	24年3月	21,600円
22年4月	23,500円	23年4月	14,800円	24年4月	27,600円
22年5月	34,400円	23年5月	13,400円	24年5月	27,200円
22年6月	39,200円	23年6月	10,200円	24年6月	24,300円
22年7月	38,200円	23年7月	9,800円	24年7月	30,800円
22年8月	34,300円	23年8月	10,600円	24年8月	20,900円
22年9月	36,400円	23年9月	22,400円		
22年10月	36,100円	23年10月	35,100円		
22年11月	32,900円	23年11月	27,900円		
22年12月	16,600円	23年12月	16,700円		

**〇スワップ取引・東商取概況**

【スワップ取引当限】ガソリンは前日から500円安の80,000～81,000円、灯油は同750円安の78,500～79,000円、軽油は同500円安の79,000～80,000円、A重油0.5%Sは同550円安の77,500～77,900円、A重油0.1%Sは同550円安の78,000～78,400円、C重油0.3%Sは同横ばいの102,500～103,500円、C重油3.0%Sは同横ばいの89,500～90,500円。

【東商取先物】当限を対象とした取引では、ガソリンが前日から横ばいの81,000円、出来高はゼロ、クラックスプレッドは同1,670円高の10,440円。灯油は同横ばいの80,000円、出来高はゼロ、クラックスプレッドは同1,670円高の9,440円。軽油は同横ばいの80,900円、クラックスプレッドは同1,670円高の10,340円。

**◎マーケットニュース**
**○ENEOS=29日以降の基準価格、全油種で引き下げ**

ENEOSは28日、29日～9月4日出荷分に適用する系列向け基準価格を前週から実質0.6円引き下げると通知した。実質引き下げは4週ぶり。

複数の市場関係者によると、コストベースの基準価格は前週比4円下げに対し、同週支給の補助金単価は16.6円と前週から3.4円減額したため、激変が緩和され実質仕切り価格は0.6円の下げにとどまった。前週22～28日の仕切り価格は実質0.1円の上げだった。

**○出光興産=29日以降の仕切り価格を通知、実質引き下げ**

出光興産は28日、8月29日～9月4日出荷分に適用する仕切り価格を全油種で実質的に0.6円引き下げると、特約店に通知した。原油コストは前週比4円のマイナス。同期間の燃料油補助金は同3.4円減額の16.6円となった。この日はENEOS、コスモ石油マーケティングも29日以降の仕切り価格について、関係各社に実質引き下げを通知している

**○コスモ石油マーケ=29日以降の基準価格、実質引き下げ**

コスモ石油マーケティングは28日、8月29日～9月4日出荷分に適用する基準価格を全油種で実質的に0.6円引き下げると、特約店に通知した。

原油コストを元に算出した基準価格は前週比4円下落。一方、燃料油補助金は16.6円と前週から3.4円減額されたため、実質的な仕切り価格は前週から0.6円の引き下げとなった。

ENEOSもこの日、同期間の仕切り価格について実質0.6円の引き下げを通知した。

**○原油・石油製品供給統計週報=<石油連盟全国>**

	今週 8/18～24	前週 8/11～17	前週比
<b>製油所稼働状況</b>			
週間原油処理量(kl)	2,594,550	2,460,727	133,823
週間トッパー実稼働能力(b/d)	2,665,157	2,499,443	165,714
週間トッパー実稼働率	87.5%	88.5%	-1.0
週間トッパー設計能力(b/d)	3,110,400	3,110,400	0
週間トッパー設計能力稼働率	75.0%	71.1%	3.9
<b>石油製品週末在庫</b>			
ガソリン	1,405,252	1,346,313	58,939
ナフサ	1,350,726	1,280,664	70,062
ジェット燃料油	707,966	826,880	-118,914
灯油	1,898,080	1,806,307	91,773
軽油	1,477,864	1,455,706	22,158
LSA 重油(S分0.1%以下)	299,079	318,895	-19,816
HSA 重油(S分0.1%超)	397,649	399,600	-1,951
A 重油計	696,728	718,495	-21,767

LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	736,521	750,682	-14,161
HSC 重油 (S 分 0.5%超)	977,170	1,030,577	-53,407
C 重油計	1,713,691	1,781,259	-67,568
合計	9,250,307	9,215,624	34,683
<b>原油・半製品・装置原料週末在庫</b>			
原油	10,998,076	9,864,062	1,134,014
粗ガソリン	1,855,432	1,652,814	202,618
粗灯油	497,189	481,305	15,884
粗軽油	916,540	852,015	64,525
粗 A 重油	517,564	516,222	1,342
装置原料	2,414,704	2,397,433	17,271
合計	6,201,429	5,899,789	301,640
<b>石油製品生産量</b>			
ガソリン	792,567	929,923	-137,356
ナフサ	142,145	154,850	-12,705
ジェット燃料油	155,234	380,701	-225,467
灯油	157,843	74,417	83,426
軽油	672,801	464,173	208,628
LSA 重油 (S 分 0.1%以下)	50,510	52,834	-2,324
HSA 重油 (S 分 0.1%超)	86,741	79,752	6,989
A 重油計	137,251	132,586	4,665
LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	63,753	81,049	-17,296
HSC 重油 (S 分 0.5%超)	134,437	185,925	-51,488
C 重油計	198,190	266,974	-68,784
合計	2,256,031	2,403,624	-147,593
<b>石油製品輸入量</b>			
ガソリン	n. a.	n. a.	-
ナフサ	n. a.	n. a.	-
ジェット燃料油	n. a.	n. a.	-
灯油	n. a.	n. a.	-
軽油	n. a.	n. a.	-
LSA 重油 (S 分 0.1%以下)	n. a.	n. a.	-
HSA 重油 (S 分 0.1%超)	n. a.	n. a.	-
A 重油計	n. a.	n. a.	-
LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	0	0	0
HSC 重油 (S 分 0.5%超)	0	0	0
C 重油計	0	0	0
合計	n. a.	n. a.	-
<b>石油製品輸出量</b>			
ガソリン	63	49,346	-49,283
ナフサ	0	0	0
ジェット燃料油	172,666	162,988	9,678
灯油	15,063	24,180	-9,117
軽油	115,912	75,267	40,645
LSA 重油 (S 分 0.1%以下)	0	0	0
HSA 重油 (S 分 0.1%超)	0	0	0
A 重油計	0	0	0

LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	27,194	25,960	1,234
HSC 重油 (S 分 0.5%超)	123,987	68,373	55,614
C 重油計	151,181	94,333	56,848
合計	454,885	406,114	48,771
単位 : kl			
「n.a.」は現時点でサンプル数が少ないため発表対象外			

**○石油製品の推定週間出荷量(内需) 全国**

	2024/8/18~8/24		前週比		前年比(8/20~8/26)	
	出荷量(kl)	日量平均(kl)	%	kl	%	kl
ガソリン	733,565	104,795	-24.1	-233,006	+6.4	+44,262
ナフサ	-	-	-	-	-	-
ジェット	101,482	14,497	+18.0	+15,479	+236.7	+71,338
灯油	51,007	7,287	+41.9	+15,073	-51.3	-53,721
軽油	534,731	76,390	+144.4	+315,958	-18.3	-119,831
LSA 重油	70,326	10,047	+138.4	+40,829	-10.4	-8,205
HSA 重油	88,692	12,670	+198.6	+58,993	+9.8	+7,901
A 重油計	159,018	22,717	+168.6	+99,822	-0.2	-304
LSC 重油	50,720	7,246	+52.6	+17,475	+7.0	+3,323
HSC 重油	63,857	9,122	-7.6	-5,282	-58.3	-89,396
C 重油計	114,577	16,368	+11.9	+12,193	-42.9	-86,073
合計	1,694,380	242,054	+15.4	+225,519	-7.8	-144,329
石油連盟週報から推計 合計にナフサは含んでいない						
当該週出荷=前週末製品在庫+当該週生産+当該週輸入-当該週輸出-当該週末製品在庫						

**◎お知らせ**
**○リム創業40周年記念本『エネルギーの歩み』発売のお知らせ**

リム情報開発株式会社は2024年2月、創業40周年を記念し、『エネルギーの歩み』を刊行いたしました。石油メジャーの誕生から脱炭素化に至るまで、エネルギーの歴史をわかりやすくひも解くとともに、リムならではの市況解説もふまえた充実の一冊です。原油、石油製品、LNG、LPGの貿易統計に加え、年表も資料として掲載しており、業務や勉強に幅広く利用していただけます。この機会にぜひお申し込みください。

定価：33,000円（税込）※送料が別途かかります。お申し込みは以下のリンクから（サンプルあり）。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/40book/>

【お問い合わせ先】

リム情報開発株式会社／電話：03-3552-2411／E-mail：[info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

**○電力データCD・2023年度版の販売開始について**

リム情報開発は、電力入札データの2023年度版CDを、7月17日から販売開始しました。初版となる2014年度版のリリース以来、各方面からご好評をいただいております電力入札データの2023年度版となります。最新版では、2023年4月から2024年3月までの1年間に、全国の公共機関が公募した電力調達について、詳細な情報を提供いたします。2023年度版は、収集件数4,071件（昨年度4,168件）で、うち比較可能



なデータは2,058件(同1,000件)です。

※「比較可能データ」：予定供給量、契約電力、契約金額がそろった案件を集計(入札不調、入札条件が不明などの案件は除外)

関連記事 <https://www.rim-intelligence.co.jp/news/data/1777043.html>

お申込みこちらへ <https://www.rim-intelligence.co.jp/contact/form/powerData.html>

--EDITORIAL AND SUBSCRIPTION INQUIRY: Tokyo--Tel: (81) 3-3552-2411 Fax:(81)3-3552-2415 e-mail: info@rim-intelligence.co.jp Singapore--Tel (65)6345-9894 Beijing--Tel (86)10-8527-1630 Fax (86)10-6428-1725 Shanghai--Tel (86)21-5111-3575 Fax (86)21-5111-3576



※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

#### 事業所一覧

[東京本社] Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415  
e-mail:[info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

[シンガポール支局] Tel: 65-6912-7359  
e-mail:[lim@rim-intelligence.co.jp](mailto:lim@rim-intelligence.co.jp)

[北京支社] Tel: (86) 10-6498-0455, Fax: (86) 10-6428-1725  
e-mail:[guanhong@rimbj.com](mailto:guanhong@rimbj.com)

[上海支社] Tel: (86)-21-6760-6330, e-mail:[rim\\_sh@rim-intelligence.co.jp](mailto:rim_sh@rim-intelligence.co.jp)

(C) 2024 RIM INTELLIGENCE CO.

お申し込み >

試読 >